

二次性副甲状腺機能亢進症に対する PTx 研究会 世話人会議事録

2009年10月24日
名古屋第二赤十字病院 会議室3
12:15-13:00

1) 代表世話人挨拶

代表世話人富永芳博より会の設立趣旨を説明した。

2) JAPS アンケート調査の結果について

本年4月より、全国の全透析施設に対して PTx 紹介先のアンケート調査を実施した。その結果、1032 軒の透析施設から回答より明らかとなった PTx 紹介先施設 340 施設に対し、再度 PTx 実施施設に対し過去 5 年間の手術件数とその内訳の調査を行った。結果は別添付資料参照。

3) 今後の PTx 症例の登録制度について

代表世話人富永芳博より登録制度について説明を行った。概要は以下の通り。

これまで、日本ならびに世界においても、腎不全に合併する二次性副甲状腺機能亢進症例における副甲状腺摘出術（以下 PTx）の情報は登録されておらず、追跡調査も各施設で任意で行われていたに過ぎない。PTx 後の 10 年生存率は 77.6%とその生命予後は非常に良好であり、また腎不全患者の QOL 改善の観点からも、更なるエビデンスの確立が求められており、今回の登録システムを開始する。

詳細は別添付資料を参照。

4) 顧問、アドバイザーの追加について

代表世話人富永芳博より下記 2 名の推薦があり承認を取得した。

顧問：東海大学医学部 深川雅史先生

アドバイザー：大阪市立大学医学部 田原英樹先生

5) 第 2 回 JAPS 学術集会開催概要について

当番世話人を久木田和丘（札幌北楡病院）、事務局を小野寺一彦先生（札幌北楡病院）とし、2010年9月18日（土）に札幌で開催されること承認を得た。

6) 第 3 回以降の当番世話人と開催地について

代表世話人富永芳博より、第 3 回学術集会（2011 年開催予定）の当番世話人を岩元則幸先生（桃仁会病院）とし京都で開催することの提案があり承認された。

以上
(文責 富永 芳博)